

令和5年度 学校評価 自己評価書（1学期）

1 学校の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ○ 開かれた学校、特色ある教育活動の推進 ○ 学力向上（授業力向上と補充指導、家庭学習の徹底） ○ 基本的生活習慣の確立 ○ たくましい体力・気力・忍耐力の育成 ○ 礼儀正しい学校生活の徹底

2 課題と改善策

（4段階評価 A・B・C・D）

	評価項目	職員	評価結果と改善策
学 力 向 上	1 各種学力検査等において県平均以上の結果	A	・ 令和5年度NRT（2/4/6年実施）では、どの学年も偏差値平均50を超え、総合の偏差値平均が52.7であった。令和5年度全国学力・学習状況調査における県平均正答率との比較では、国語+5、算数+7であった。細かい分析等をもとに、全学年において授業改善、学力の定着を図っていく。
	2 基本的な学習のしつきの徹底	B	・ 昨年度より「立腰」「話をきちんと聞く」を中心に取り組んできたが、習慣化してきている。今後も継続して指導していく。
	3 教科指導の充実	B	・ 「学力向上5つの方策」やICTの活用をもとに、教科指導の充実を図れるようにしていく。
	4 補充指導（にしっ子タイム）の充実	B	・ 今年度より、補充指導（週2回各20分、月1回45分）の時間を設定した。意図的・計画的に補充指導を行い、学力の定着・向上を図っていく。
	5 家庭学習の充実	B	・ 全学年の家庭学習の質・量を検討した。特に、「書く」内容を共通理解し、全学年週2回共通実践できた。2学期以降も継続し、「書く」力を伸ばしていけるようにする。
	6 一人一授業・チームによるプレゼンの実施	B	・ 職員研修の在り方を見直し、小グループを編成し、授業改善に向けた研究を進めている。2学期に、全担任が、研究授業を行い、授業改善を図っていく。
	7 読書指導の充実	B	・ 始業前の読書を定着させたり、読書月間等の取組を充実させたりして、より本に親しめるようにしていく。
豊 か な 心 の 育 成	1 礼儀正しい学校生活の徹底（「あいさつ（語先後礼）」「返事」「言葉遣い」等）	B	・ 「語先後礼」を合言葉に、立ち止まってあいさつをする子どもが増えてきている。今後も家庭や地域と連携しながら進めていく。
	2 いじめ・不登校、問題行動等への対応	A	・ アンケート等を定期的実施し、いじめの認知・防止に向けた取組を行った。不登校傾向の対応等もきめ細かに行うことができた。
	3 ボランティア活動の推進	A	・ 高学年を中心に充実した取組が行えた。
	4 自主的な活動の推進（委員会活動・係活動）	A	・ 自ら考えて主体的に活動できるよう継続して指導していく。
健 康 な 体 づ く り	1 命に係わる事故防止の徹底 (1) 校内での事故防止 (2) 登下校中の交通事故防止 (3) 食物アレルギー児童への対応 等	B	・ 大きな事故はなかったが、登下校中の坂道における転倒や校庭での怪我が多かった。安全指導を更に徹底していきたい。
	2 体力の向上 (1) 一校一運動（なわとび運動）の推進 (2) 教科体育の充実	B	・ 1学期は運動会練習と水泳が主となった。体力テストの結果では全国平均を上回る種目が多く、体力の向上が見られた。2学期は教科体育や朝の運動等において、なわとび運動の取組を推進する必要がある。
	3 う歯治療率向上と疾病治療の推進	B	・ う歯保有者は51名（13.9%）であった。保護者と連携を図りながら、治療を進めていけるようにする。
	4 望ましい食習慣の育成	B	・ 食育委員会を行い、各学年の課題（残食等）について協議してきた。2学期は、栄養教諭を中心とした「食に関する授業」を充実させていく。
開 か れ た 特 色 あ る 学 校 づ く り	1 人権尊重の視点に立った学級経営	A	・ 校訓、学級訓を意識させ、子どもたちが成長していけるような温かい集団作りに努めることができた。2学期も、各教育活動を通して、個及び集団の成長を促していきたい。
	2 教室設営及び学年設営の充実	B	・ 児童の作品に必ず朱書きでコメントを入れる等して、充実を図った。今後も計画的に学習環境を整備していく。
	3 地球規模で考え、足元から行動する環境教育の推進（資源活用）	A	・ ペットボトルのふたや空き缶の回収活動をはじめ、4年生以上における「みどりの小道」環境日記コンテストへの取組等を実施することができた。
	4 広報活動の充実と各種コンクールへの応募	B	・ 学校ホームページにおける各学年ページの更新を1か月に1回は更新できるようにしていく。各種コンクールの応募は積極的に行うことができた。
	5 整然とした学校環境づくり	B	・ 整然とした学校環境の整備に向け、今後も計画的に取り組んでいきたい。

3 2学期に向けての取組

- 学力向上を最重点課題とし、学習の躰、授業改善、補充指導、家庭学習を有機的に結び付け、学力の定着・向上を図る。